

八潮市公共施設マネジメント推進委員会第2回会議

開催日時	平成 29 年 7 月 24 日(月) 午後3時から午後4時 30 分まで	開催場所	第二会議室
出席者 〔敬称略〕	〔1号委員〕藤井さやか、松本暢子 〔2号委員〕會田孝雄、小川由利子、小嶋章寛、宮本安江		
欠席者 〔敬称略〕		傍聴者数	0人
審議内容及び審議結果の概要	【八潮市公共施設マネジメント推進委員会第2回会議】 1 開 会 2 議 事 (1) 第1回推進委員会議事録について (2) 八潮市公共施設マネジメントアクションプラン原案について (3) 八潮市公共施設マネジメントアクションプラン答申について 3 答 申 4 その他 5 閉 会		
提供資料	<配布資料一覧> 1 次第 2 資料No.1: 第1回推進委員会議事録 3 資料No.2: 八潮市公共施設マネジメントアクションプラン原案 (新旧対照表) 4 資料No.3: 八潮市公共施設マネジメントアクションプラン答申 5 資料No.4: 八潮市公共施設マネジメントアクションプラン素案に対する パブリックコメントの実施結果について 6 参考資料: アセットマネジメント市民シンポジウムアンケート集計		

※以下、八潮市公共施設マネジメントアクションプランは「本プラン」と表記。

≪議事詳細≫

1 開 会

2 議 事

(1) 第1回推進委員会議事録について

〔事務局〕

八潮市附属機関設置条例に則り議事録を公開としていくことを説明。

議事録の内容について確認のうえ、議事録の公開について委員に了承された。

(2) 八潮市公共施設マネジメントアクションプラン原案について

〔事務局〕

6月11日(日)から7月10日(月)の期間でパブリックコメントを実施したところ、意見の提出はなかったが、前回の推進委員会でいただいたご意見を鑑み、施設のサービス圏域の観点から、市域及び地域に配慮した施設配置を前提とする内容で加筆修正したことについて説明した。

〔委員長〕

パブリックコメントでは意見が出なかったようであるが、そのことについて事務局から何か見解があれば伺いたい。

〔事務局〕

参考資料としてお示したシンポジウムのアンケート調査の結果をご覧いただくとわかるとおり、市民の関心はあり、課題認識を持っていることは伺えた。総論は賛成であるものの、今後、各論の話しになるときに反対意見も出てくるものと思われるが、まずは、全体の取組について理解いただけるよう情報発信を行っていきたい。また、発信の中身についてもわかりやすいように工夫したい。

〔委員長〕

市全体の総論としてはもったもであるので、パブリックコメントでの意見は出なかったとも考えられる。

〔委員〕

本プランは施設のハード面の維持管理の話しが中心であると思われるが、

今後、運営面において民間の知識を参考にしていくことは考えられるのか。

〔事務局〕

本年度の後半で、本プランの中でも先決して取り組むべき事業を、「リーディングプロジェクト」と位置づけて取組を進めていく。今後、公共施設の整備だけではなく、その後の運営面も含めて、官民連携により効果的に実施する手法を探るための調査を実施する。従来型の整備・運営に捉われず、どうすれば住民サービスが向上するのかという視点に基づき進めていきたい。

〔委員〕

シンポジウムに参加させていただいたが、女性の参加者が少ないのが残念であった。

内容としては総論の話は市民としては難しく、パブリックコメントでも意見が出せないのではないかと感じた。私自身この委員会に参加して全体像を見ながらの公共施設について考えられるようになった。

総論についての理解がないと、それぞれの生活圏の中での意見だけが出されることになってしまうのではないかと感じる。

〔事務局〕

シンポジウムでは女性の参加者もそうであるが、若い世代の参加者も少なかった。今後、出前講座を活用したり、各種団体等への会合でアナウンスを行うなど、引き続き、こちらから出向いて発信・アプローチしていく方法を模索していきたい。

〔委員〕

アセットマネジメントの取組を理解していただけないのはもったいないと感じる。広報にも掲載しているが、言葉の使い方も含めてわかりやすいように呼びかけていくことが必要ではないかと感じる。

〔委員〕

まだ先の話だからという思いの人が多いのかもしれない。いざ自分の近くの施設がどうなるといったときに意見が多くなると思われるので、今からアセットマネジメントの全体的な取組について認知を高めることが大事である。

〔委員長〕

本プランの全体的な考えについて意見が出されたが、内容について異議はないか。

異議はないようであるので、今回の内容を最終的な原案とすることを承認する。

(3) 八潮市公共施設マネジメントアクションプラン答申について

前回の推進委員会での各委員からの意見や、6月10日に実施した市民シンポジウムでの委員長及び副委員長の発言・要旨を踏まえ、事務局において作成した答申の案を示し、その確認を行った。

⇒内容についての大きな修正は無く、文言の整理をした後、答申内容が了承された。

3 答 申

委員長から、推進委員会として了承された諮問に対する答申書を朗読のうえ、市長に手渡した。

〔市長〕

委員会から本プランに対する答申において6項目の見解を示していただいた。

本市の進めるアセットマネジメントの取組は、市全体を俯瞰しながら、市民サービスの向上、将来にわたる行政課題の解決、将来的なまちづくりに向けた取組として進めている。

今回委員の皆さんからいただいた貴重な意見を踏まえて、今後本プランの取組を進めていきたい。特にリーディングプロジェクト(先決して取り組む事業)はまちづくりの大きな核たる事業となる。

今後も、市民との協生・協働の理念に基づき取組を進めていきたいと考えておりますので、引き続き委員の皆さんのご協力をお願いしたい。

4 その他

〔事務局〕

次回の委員会は年度末を予定している。詳細な日程は決定次第ご連絡させていただきます。

5 閉 会